

鋁工業指數參考圖表集
(平成29年1月速報)

平成29年2月28日

經濟解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成29年1月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

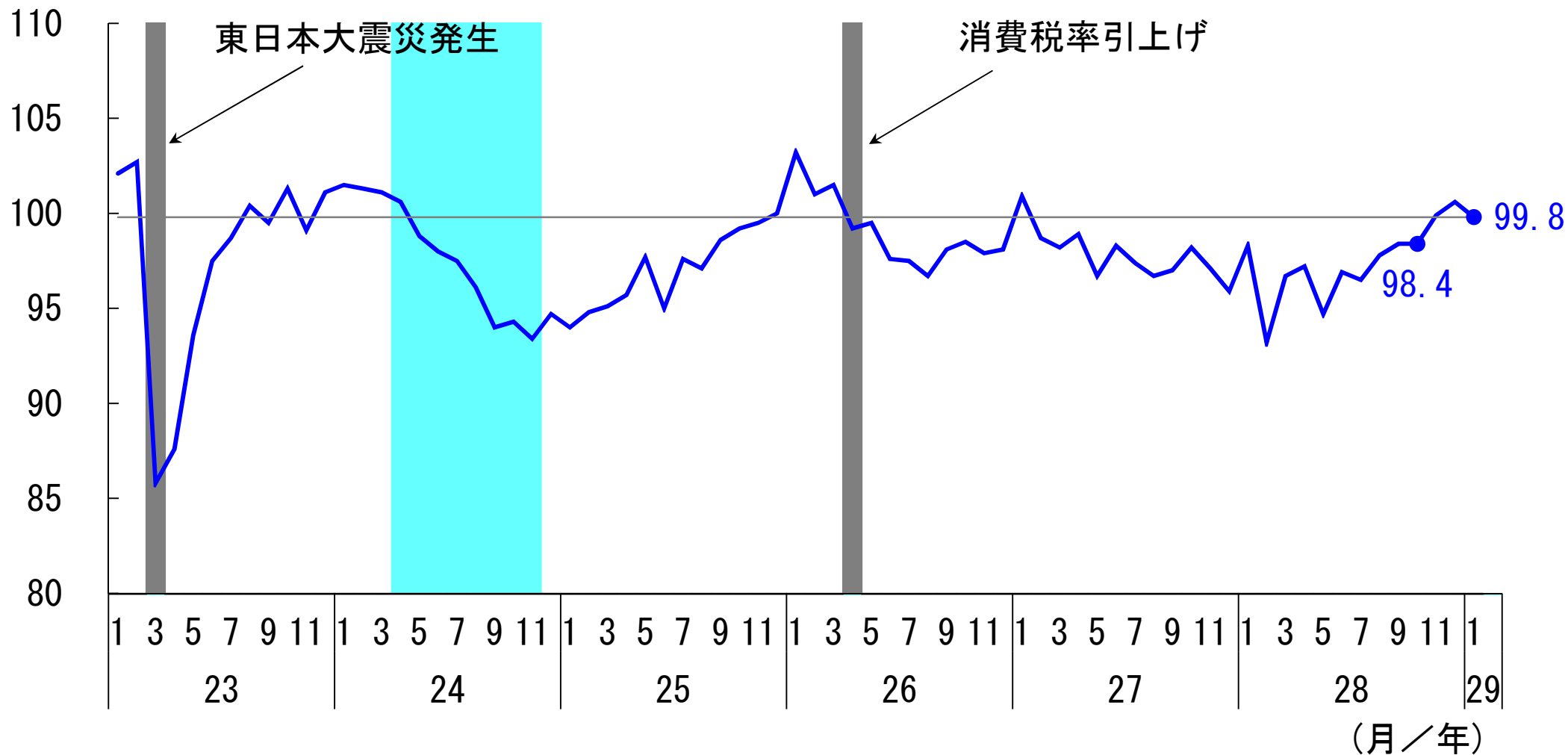
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	99.8	98.5	107.5	111.4
前月比	-0.8%	-0.4%	0.0%	1.7%
指数水準	H28.10 98.4以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H28.10 98.3以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	—	H28.10 114.2以来 ⅠH21.2 155.6 ⅡH21.1 150.2 ⅢH21.3 146.3
前月比の動き	6か月ぶり— (H28.7以来)	2か月連続— (H28.12~当月)	—	2か月連続+ (H28.12~当月)
前月比幅	H28.5 -2.6%以来 ①H23.3 -16.5% ②H21.1 -8.8% ③H21.2 -8.6%	H28.12 -0.4%以来 (超)H28.8 -1.1%以来 ①H23.3 -15.7% ②H21.1 -9.5% ③H20.12 -7.1%	—	H28.5 1.8%以来 ⅠH20.11 13.2% ⅡH20.12 9.9% ⅢH21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	3.2%	3.5%	-4.3%	-4.1%
前年同月比の動き	3か月連続+ (H28.11~当月)	3か月連続+ (H28.11~当月)	7か月連続— (H28.7~当月)	3か月連続— (H28.11~当月)
前年同月比幅	H28.12 3.2%以来 (超)H28.11 4.6%以来 ⅠH22.3 29.2% ⅡH22.2 28.8% ⅢH22.4 23.8%	H28.11 5.1%以来 ⅠH22.3 28.4% ⅡH22.2 27.0% ⅢH22.4 25.4%	H28.12 -4.6%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H28.12 -5.8%以来 ①H22.2 -34.0% ②H22.3 -33.8% ③H22.1 -32.1%

(注) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- 平成29年1月の鉱工業生産指数は、99.8(前月比-0.8%)と6か月ぶりの低下。
- 平成28年10月の98.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。

平成29年1月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直しの動き」

基調判断の推移

- 平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- 平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- 平成27年8月
「生産は弱含み」
- 平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- 平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- 平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- 平成28年11月～
「生産は持ち直しの動き」

鉱工業生産指数

四半期ベース (平成22年=100、季節調整済)			
		指数	前期比 (%)
平成27年	Ⅳ期	97.1	0.1
平成28年	Ⅰ期	96.1	-1.0
	Ⅱ期	96.3	0.2
	Ⅲ期	97.6	1.3
	Ⅳ期	99.6	2.0
平成29年	Ⅰ期	(100.4)	(0.8)

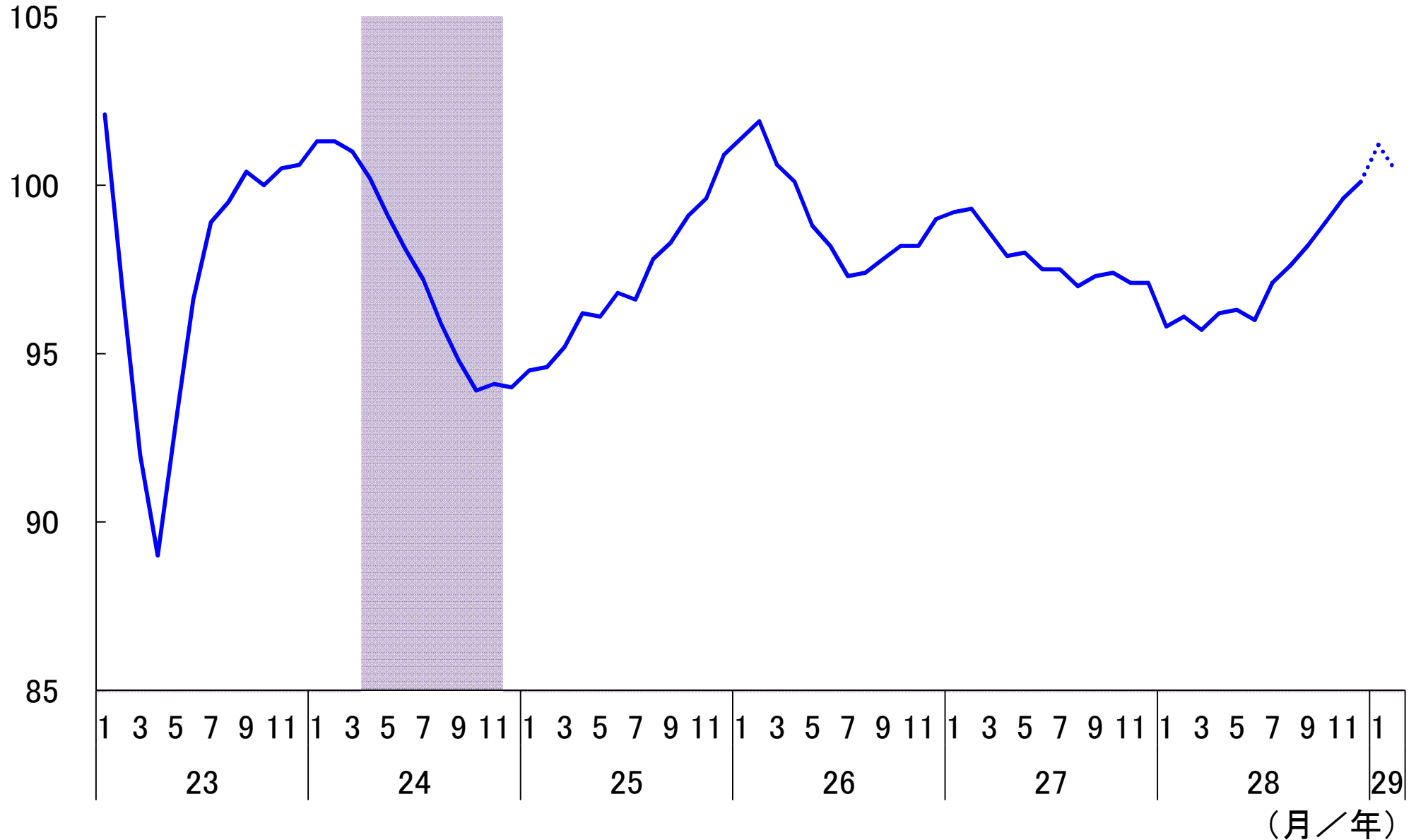
(注)
上記の平成29年Ⅰ期の()及び右表の平成29年1月、2月の()内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したもの。

月次(3か月移動平均値)ベース (平成22年=100、季節調整済)

		指数	前月比 (%)
平成27年	2月	99.3	0.1
	3月	98.6	-0.7
	4月	97.9	-0.7
	5月	98.0	0.1
	6月	97.5	-0.5
	7月	97.5	0.0
	8月	97.0	-0.5
	9月	97.3	0.3
	10月	97.4	0.1
	11月	97.1	-0.3
	12月	97.1	0.0
	平成28年	1月	95.8
2月		96.1	0.3
3月		95.7	-0.4
4月		96.2	0.5
5月		96.3	0.1
6月		96.0	-0.3
7月		97.1	1.1
8月		97.6	0.5
9月		98.2	0.6
10月		98.9	0.7
11月		99.6	0.7
12月		100.1	0.5
平成29年	1月	(101.2)	(1.1)
	2月	(100.4)	(-0.8)

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

（22年＝100、季節調整済）



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成29年1月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向へ引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	5.7%	61.4%
	品目	集積回路	11.2%	47.1%
		電子部品	1.1%	5.9%
	2位の業種	プラスチック製品工業	0.9%	5.7%
	品目			
	3位の業種	パルプ・紙・紙加工品工業	0.3%	0.8%
品目	紙加工品	1.1%	1.0%	
	板紙	0.2%	0.1%	
鉱工業生産を 低下 方向へ引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	-4.7%	-119.5%
	品目	乗用車	-7.1%	-71.6%
		自動車部品	-5.6%	-50.5%
	2位の業種	化学工業（除. 医薬品）	-3.5%	-44.0%
	品目	化粧品	-8.2%	-29.8%
		石けん・合成洗剤・界面活性剤	-5.7%	-8.1%
3位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	-1.7%	-31.8%	
品目	運搬機械	-49.3%	-49.5%	
	その他の業務用機械	-25.1%	-10.0%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成29年1月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	18.8%	49.1%
	2位	集積回路	11.2%	47.1%
	3位	生活関連産業用機械	33.3%	18.4%
鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	-7.1%	-71.6%
	2位	自動車部品	-5.6%	-50.5%
	3位	運搬機械	-49.3%	-49.5%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-3.9%	-52.3%
		普通乗用車	-9.3%	-60.9%
		カーナビゲーションシステム	-6.2%	-4.3%
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-1.6%	-31.3%
		コンベヤ	-68.7%	-22.6%
		開閉制御装置	-8.0%	-8.9%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-1.5%	-25.1%
		美容液	-20.6%	-15.6%
		ファンデーション	-19.9%	-10.8%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.2%	-12.6%
		駆動伝導・操縦装置部品	-5.9%	-18.7%
		自動車用エンジン	-7.8%	-17.5%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-0.5%	-3.5%
		木造住宅用アルミニウムサッシ	-6.4%	-1.8%
		軽量鉄骨	-16.8%	-1.7%

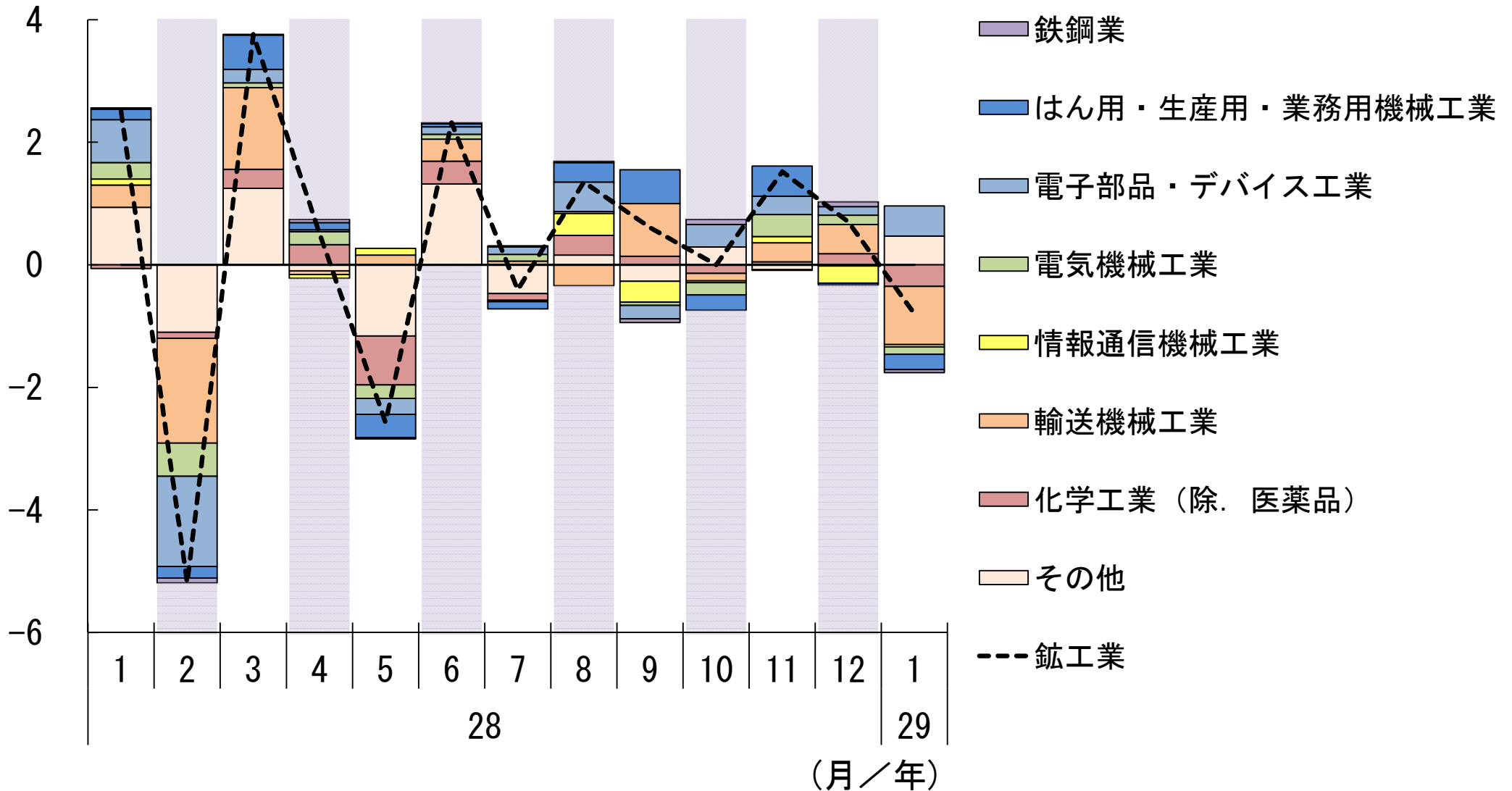
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年1月の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが上昇したものの、輸送機械工業などが低下したため、前月比-0.8%の低下。

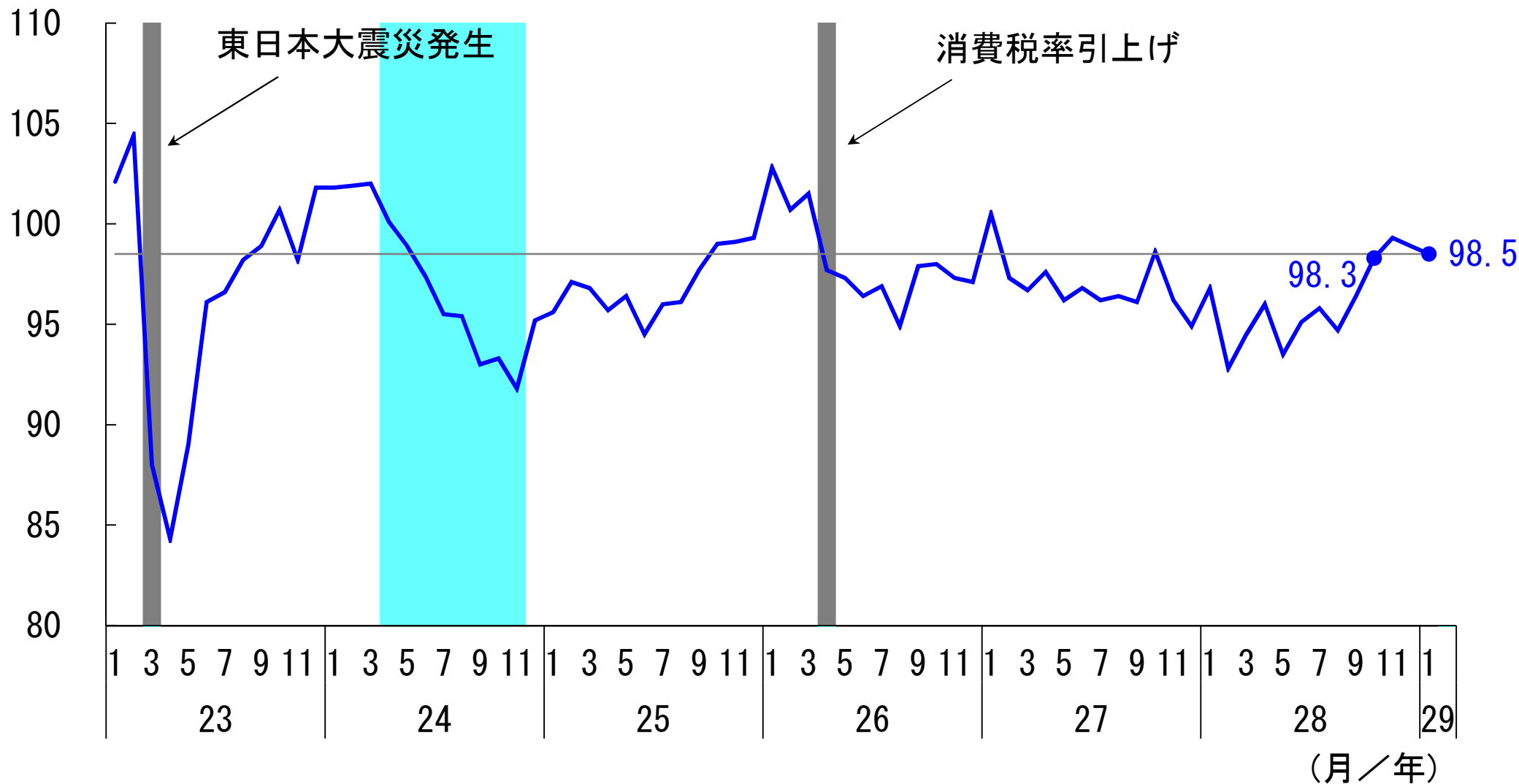
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鉱工業出荷指数の動向

- 平成29年1月の鉱工業出荷指数は、98.5(前月比-0.4%)と2か月連続の低下。
- 平成28年10月の98.3以来の指数水準。

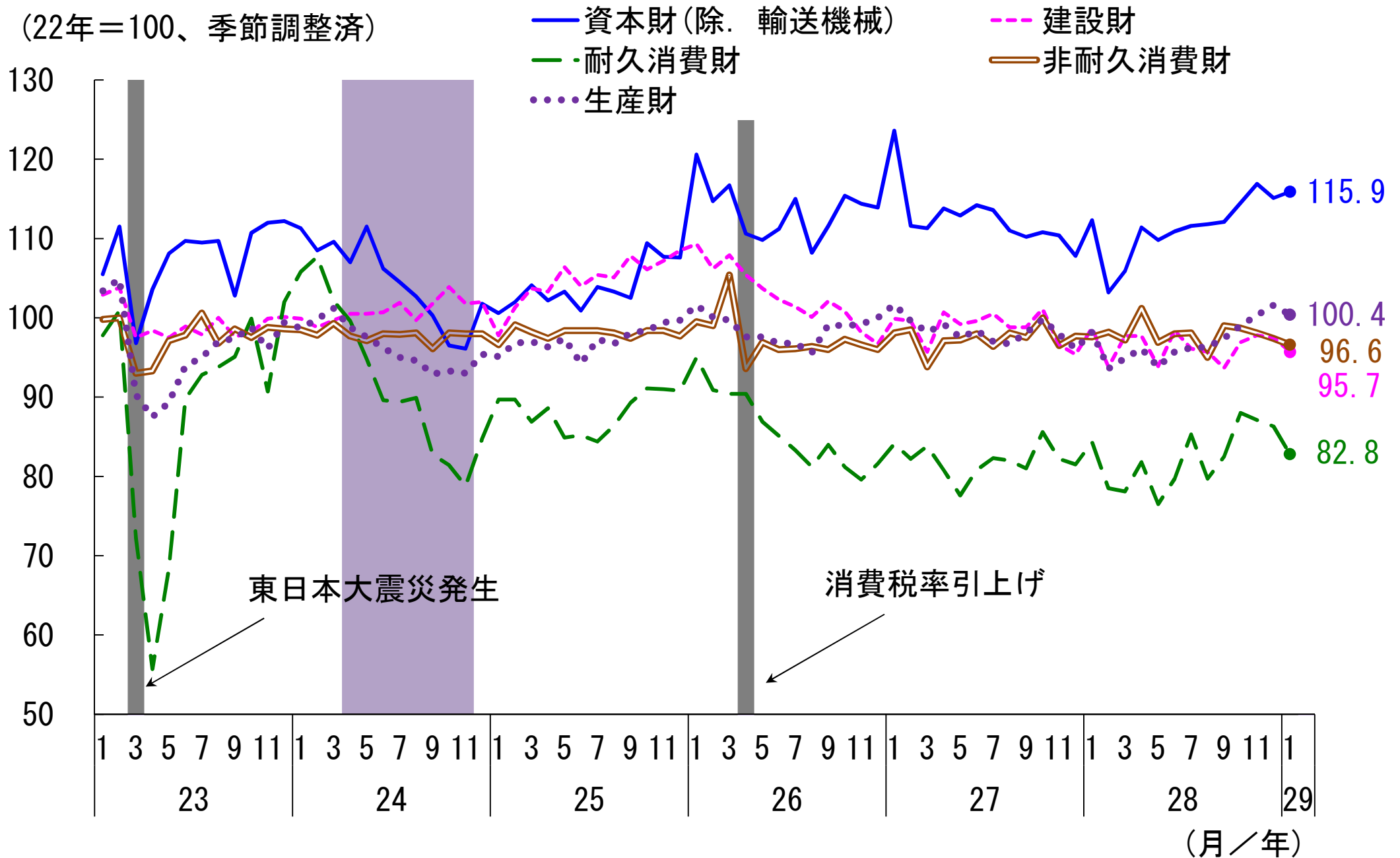
(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャド一部分は、景気後退局面。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成29年1月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

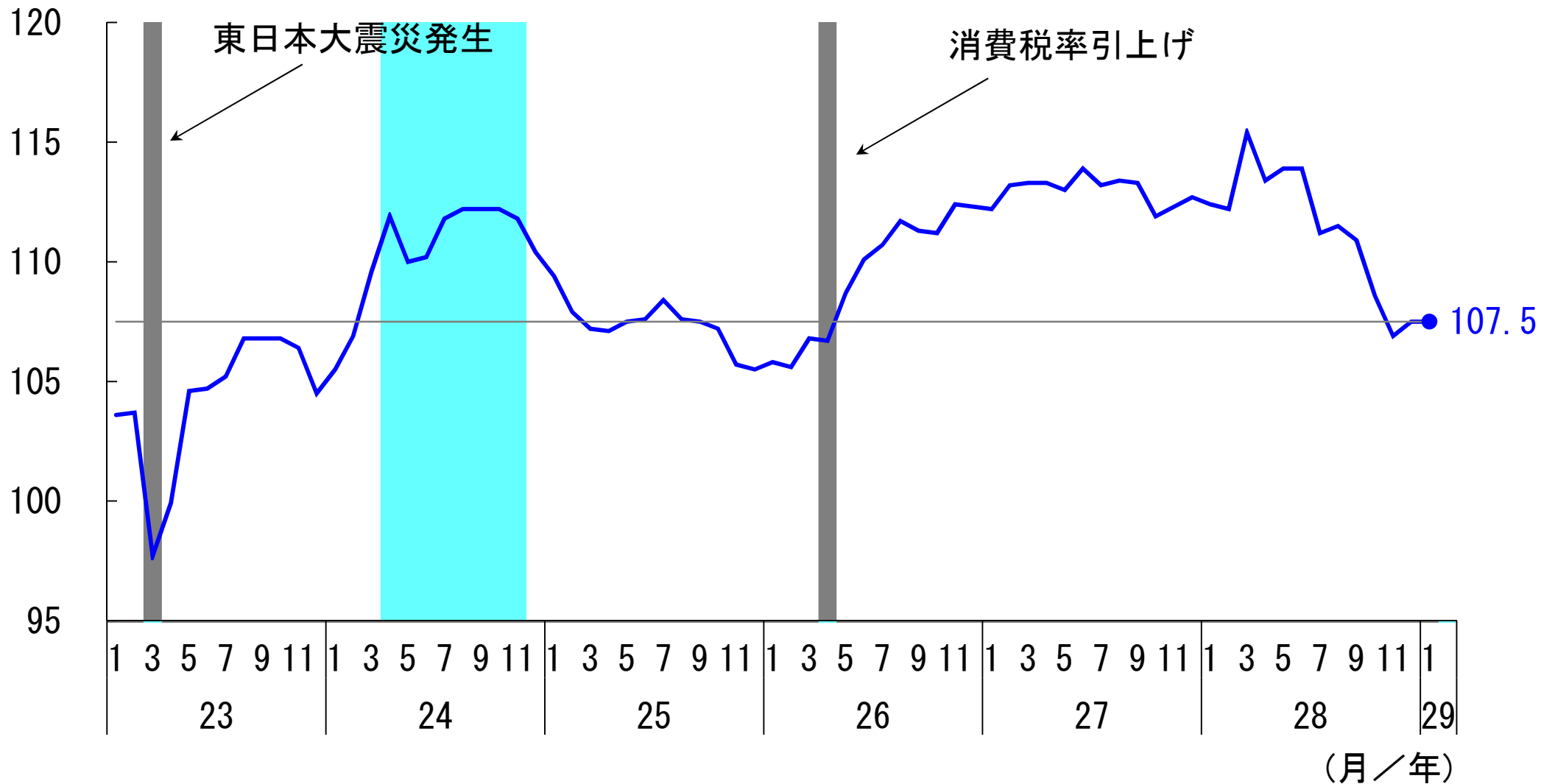
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-1.2%	-150.9%
		駆動伝導・操縦装置部品	-6.4%	-38.9%
		自動車用エンジン	-8.3%	-35.4%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-4.1%	-133.3%
		普通乗用車	-11.3%	-205.2%
		小型乗用車	-6.6%	-31.4%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-1.8%	-24.8%
		軽量鉄骨	-16.6%	-3.7%
		木造住宅用アルミニウムサッシ	-4.8%	-3.2%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-0.8%	-23.3%
		ファンデーション	-17.7%	-10.5%
		シャンプー	-18.8%	-8.2%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	0.7%	23.6%
		半導体製造装置	21.5%	71.4%
		ショベル系掘削機械	12.6%	44.3%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鉱工業在庫指数の動向

・平成29年1月の在庫指数は、107.5(前月比0.0%)と横ばい。

(22年=100、季節調整済)

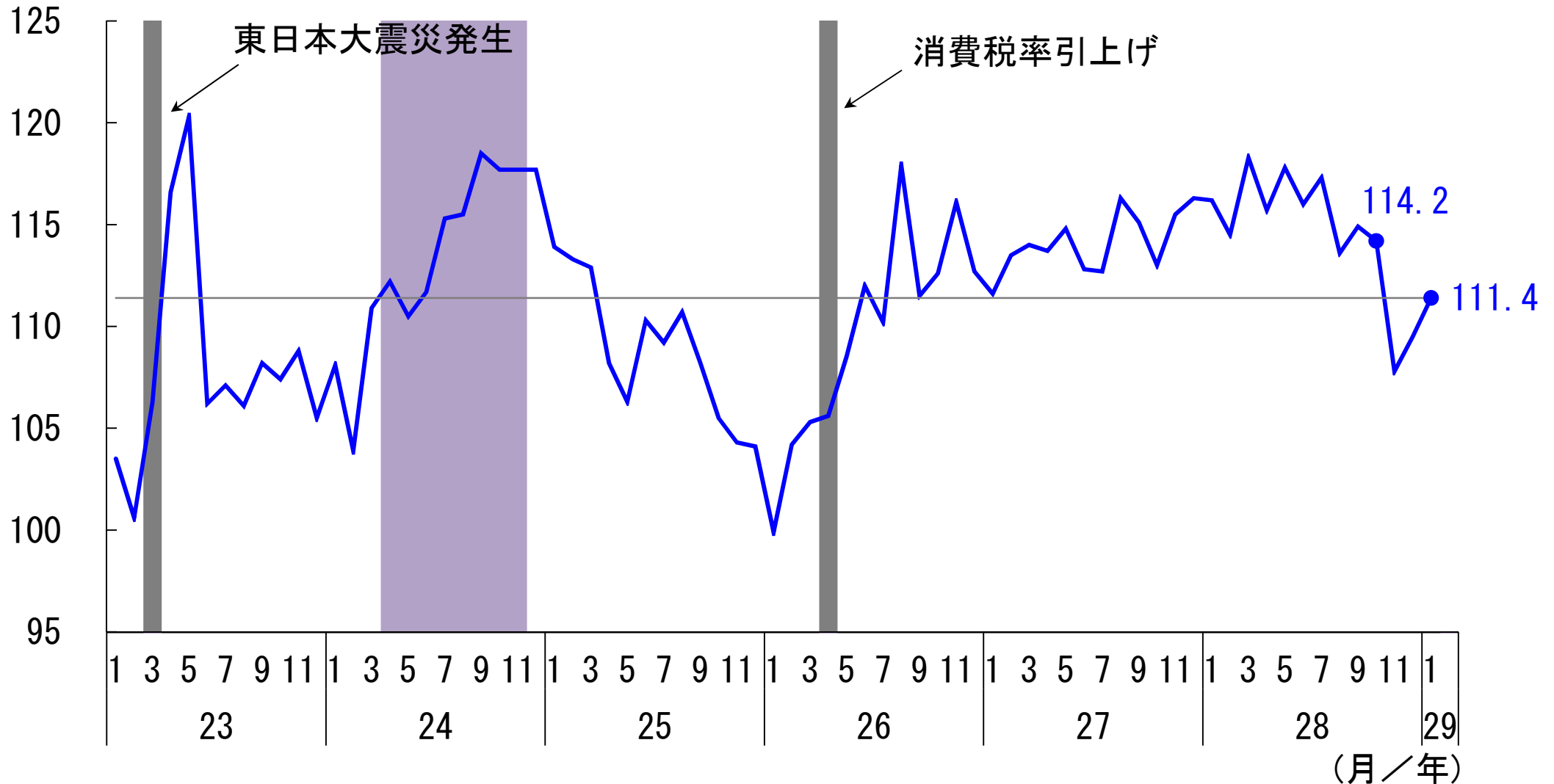


(注)水色のシャド一部分は、景気後退局面。

鋁工業在庫率指数の動向

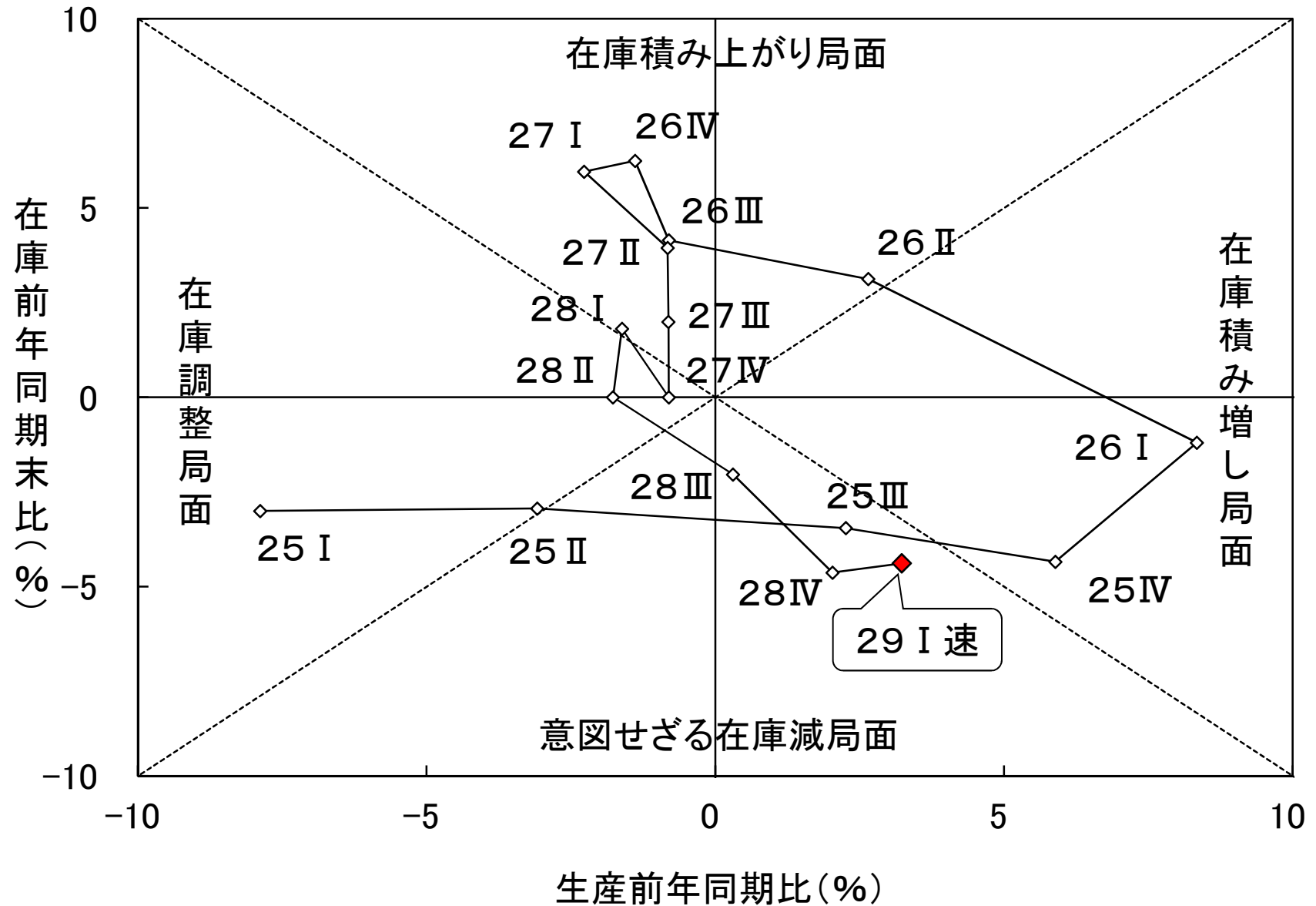
- ・平成29年1月の在庫率指数は、111.4(前月比1.7%)と2か月連続の上昇。
- ・平成28年10月の114.2以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

鋁工業の在庫循環図



(注) 「29 I 速」は1月値を使用。

2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）

